

「認知症はもう不治の病ではない！」

脳内プラズマローゲンが神経細胞を新生する

出版記念

藤野武彦 九州大学 名誉教授

馬渡志郎 レオロジー機能食品 研究所所長

～講演会のご案内～

日時: **10月3日(土)**
13:15開演～15:45
(12:45開場)

会場: **帝国ホテル本館 3階 富士の間**
(東京都千代田区内幸町1-1-1 裏面に地図あり)

入場無料・事前申込み不要

●お問い合わせ ブックマン社 TEL 03-3237-7777



1ヵ月で笑顔が戻り、
家族に「ありがとう」を言えるようになった
アルツハイマーの患者さん。
一体、何が起きたのか?
その秘密はプラズマローゲンにあり。



藤野武彦 (ふじのたけひこ)

1938年福岡県生まれ。九州大学名誉教授、医学博士、内科・循環器専門医、医療法人社団ブックス理事長、レオロジー機能食品研究所 代表取締役、一般社団法人プラズマローゲン研究会 臨床研究部代表、NPO法人BOOCSサイエンス代表理事。24年前に脳疲労概念とその具体的治療法であるBOOCS理論を提唱。また近年、脳疲労と脳内プラズマローゲンとの関係に着目し、重症脳疲労と考えられる認知症に対する両者の有用性を実証しつつある。



馬渡志郎 (まわたりしろう)

1940年福岡県生まれ。レオロジー機能食品研究所所長、医学博士、内科・神経内科専門医。九州大学医学部卒業後、神経内科学専攻、1972年から3年半ほど、米国ペンシルバニア大学およびコロンビア大学でジストロフィーの赤血球膜の生化学的研究に従事。この10年間はレオロジー機能食品研究所において脂質などの新たな測定・抽出技術を開発し、その一環としてプラズマローゲンの大量抽出法・簡易測定法の開発や新規ポリフェノールの発見がある。

プラズマローゲンが認知症の未来を変える!

記憶がどんどんよみがえる!

ストレスが恒常的に続くと、脳の神経細胞が酸化し、我々の脳は、内なる自分に対立状態となる“疲労状態”に陥ります。その結果、記憶や感覚、思考などに異常を来し、認知症の症状が出るのです。脳疲労状態の脳では、リン脂質の一種である<プラズマローゲン>が減っていることがわかりました。著者らはアルツハイマー型認知症に関する臨床試験で、プラズマローゲンによって症状が改善することを世界で初めて実証しました。その後、今年春より行われたオープントライアル試験にて、アルツハイマー型だけではなく、レビー小体型認知症や前頭側頭型認知症においても、この効果が有効であることが解明されています。一度なってしまったら、回復の見込みはないと今まで言われてきた認知症治療が、今大きく変わりつつあります。

<<講演の内容>>

講演1) 世界初の発見へ至る道(藤野武彦)

講演2) 天からの贈り物:
プラズマローゲンの
大量抽出法の発見
(馬渡志郎&藤野武彦)

講演3) 認知症からの脱出:
プラズマローゲンと
脳疲労理論(BOOCS)
(藤野武彦)

事前申込み制ではございません。

当日直接会場までお越しください。途中入退場可。

当日は、著者3名サイン入りで
本の販売も行います(100名様限定)



帝国ホテル 東京〒100-8558 東京都千代田区内幸町1-1-1 TEL 03-3504-1111

DVDも
同時発売

『認知症はもう不治の病ではない!』 脳内プラズマローゲンが神経細胞を新生する

藤野武彦・馬渡志郎・片渕俊彦 著 定価1512円(税込) 発売:ブックマン社

認知症になったら、「何も分からなくなる」なんて嘘なのです。本人はちゃんと分かっています。分かっているにもかかわらず表現できず行動に移せないから、苦しむわけです。ある男性の患者さんはプラズマローゲンを摂取して2ヵ月で、奥様とのコミュニケーションが再開しつつあることに喜びを見出し「死にたい」という想いを消し去ることができました。ご夫婦ともに、表情に輝きが戻っていました。



主催:株式会社ブックマン社 Tel:03-3237-7777(代表)
協賛:一般社団法人プラズマローゲン研究会